

第3回 津山市教育振興基本計画検討委員会 会議録【概要版】

○日 時 令和3年8月23日(月) 13:30～15:26

○場 所 津山市役所 202 会議室

○出席者

・津山市教育振興基本計画検討委員 8名

委員長 住野好久(中国学園大学・中国短期大学副学長) [オンライン参加]

副委員長 須江健治(株式会社すえ木工代表取締役社長)

委員 寺元貴幸(津山工業高等専門学校教授)

櫛田晃稜(津山市PTA連合会会長)

仁木かおり(津山教育事務所指導主事) [オンライン参加]

北山浩二(津山市立中学校長会長)、小池尚(津山市立小学校長会長)

矢野佳子(津山市立幼稚園長会長)

・事務局 教育長、教育委員会関係部課長等 10名

1. 開会

2. 委員長あいさつ

3. 前回委員会会議録の承認

一 全員挙手 承認

4. 議事

(1) 計画の概要について

(事務局説明)

- ・「第2回津山市教育振興基本計画検討委員会でのご意見について」前回の検討委員会でもいただいたご意見、ご質問に対する考え方及びご指摘を受け対応した部分を説明。
- ・中間報告となる計画概要(案)について説明。

(委員の主な意見)

- ・青少年の施策であるひきこもり対策に年齢の定義はあるのか。
- ・学力・学習状況調査の結果は最新のものを反映してほしい。
- ・幼稚園や学校が人間関係づくりや集団づくりを大切に取り組んでいるという記述を加えてほしい。
- ・体力面でのデータを示してもいいのではないか。
- ・学力・学習状況調査は区分が変わっているので、結果の提示に工夫が必要ではないか。
- ・教育基本理念や基本目標を分かりやすく整理していただき、大変見やすくなった。

- ・郷土愛の醸成は、津山のいいところを認識するだけでなく、「外から見た津山」という視点も必要だと思う。
- ・国際交流や英語学習の充実等の国際性に関する明確な記述を項目として加えてもいいのではないか。
- ・「こども」の表記を意味のあるものとしてしっかりと検討してほしい。
- ・ICTに関しては、先進的なデジタル技術も大事だが、普遍的なアナログな部分も大事にして、両面の視点からしっかりと取り組んでほしい。
- ・「津山人」の定義が曖昧で、どのような人を指すのかわかりにくい。
- ・学区の再考をお願いしたい。
- ・体力向上に、地域のスポーツ、クラブチームを活かした取組も検討してほしい。
- ・グローバル化に対応する教育の推進に「外国語」と表記されているのは良い。英語だけではなく、色々な国・言葉があることを子どもたちに知ってもらいたい。
- ・「キャリア教育の推進」には、今取り組んでいる職場体験も取り上げる必要があるのではないか。
- ・「教職員の指導力の向上」のための授業改革推進チームによる授業改善や、「学びのサイクルの具体化・見える化」の取組、「若手教員の育成」のためのチェックシートの活用は、津山市独自の取組なので、今後も前面に出して取組を進めてほしい。
- ・幼稚園では1人1人を大事にしようとしているため、「多様性を認め合い他者を思いやる心の育成」の部分にこのことを加筆してほしい。
- ・基本的な施策として挙げている具体的な取組が1項目ないし2項目では、施策全体が見えにくいので、工夫と検討が必要。
- ・新型コロナウイルス感染症対応の項目をクローズアップして、子どもたちの健康と命を守る・重視する姿勢を前面に出してもいいのではないか。

(5) その他

(梅原教育総務課長)

第4回検討委員会の日程 令和3年10月22日(金) 13:30～

5. その他

なし

6. 閉会